

2014 年度光学論文賞

2014 年度 (第 56 回) 光学論文賞は、井手口拓郎氏 (東京大学) ならびに岡野真之氏 (京都大学) が受賞されることになりました。受賞対象論文は次のとおりです。

○井手口拓郎氏:

T. Ideguchi, S. Holzner, B. Bernhardt, G. Guelachvili, N. Picque and T. W. Hansch: "Coherent Raman spectro-imaging with laser frequency combs," *Nature*, **502** (2013) 355-358.

○岡野真之氏:

M. Okano, R. Okamoto, S. Ishida, N. Nishizawa and S. Takeuchi: "Dispersion cancelation in high-resolution two-photon interference," *Phys. Rev. A*, **88** (2013) 043845.

2015 年第 40 回光学シンポジウムにて授賞式を行います。授賞式後、記念講演を予定しております。

日 時: 2015 年 6 月 26 日(金) 9:30~

場 所: 東京大学生産技術研究所 An 棟コンベンションホール (東京都目黒区駒場 4-6-1)

選考委員は以下の通りでした。

委員長: 尾松孝茂 (千葉大)

委員: 庄司一郎 (中央大), 小関泰之 (東京大), 粟辻安浩 (京都工芸繊維大), 山口滋 (東海大), 高原淳一 (大阪大), 南出泰亜 (理研), 野村孝徳 (和歌山大), 羽石秀昭 (千葉大)

第 40 回光学シンポジウム

期 日: 2015 年 6 月 25 日(木), 26 日(金)

場 所: 東京大学生産技術研究所 An 棟コンベンションホール (東京都目黒区駒場 4-6-1)

主 催: (一社)日本光学会

共 催: (公社)応用物理学会

同時開催: 光学論文賞授与式・受賞記念講演およびコミュニケーション光みらい奨励金授与式・報告講演

プログラム (招待講演のみ抜粋): ①「ホログラム導光板を用いた透過式メガネ型端末」中野聡 (ソニー), ②「液晶光学素子のガラスレス 3D ディスプレイ応用」上原伸一 (東芝), ③「近赤外光スペクトロスコープを用いたがん生体機能イメージングの臨床応用」上田重人 (埼玉医大), ④「高感度近赤外分光と非侵襲血液計測への応用」古川祐光 (産総研), ⑤「内視鏡イ

メージング技術の現状と進歩」五十嵐誠 (オリンパス), ⑥「補償光学を用いた眼底イメージング」宇治彰人 (京大), ⑦「LED アダプティブ・ドライビング・ビームヘッドランプ」黒須寛秋 (スタンレー電気), ⑧「複画素構造イメージセンサーによる撮像面位相差 AF 技術—Dual Pixel CMOS AF—」福田浩一 (キヤノン)

※一般講演 (21 件) を含む全体プログラムについては、第 40 回光学シンポジウムの HP をご覧ください。

※6 月 25 日(木) 18:30 より意見交換会を開催いたしますので、ぜひご出席ください (参加費無料)。

参加費: 日本光学会会員 6,000 円, 応用物理学会・協賛学協会会員・賛助会員 8,000 円, 非会員一般 10,000 円, 非会員学生 2,000 円, 日本光学会学生会員 無料。当日、現金にてお支払いください。

問合せ先: 藤川知栄美 (東海大学工学部光・画像工学科)

電話 0463-58-1211 E-mail optsymp40@gmail.com

URL http://myosj.or.jp/event2/opt_symp

International Symposium on Optical Memory 2015 (ISOM '15)

本会議は、光メモリー技術、およびそこから派生する技術に関するマテリアル、フィジックス、テクノロジーの広い領域を対象とし、最新の研究と技術の成果について議論します。学術分野および産業分野の関係者が一堂に会し、国際的な情報交換をすることにより、この分野の研究開発・応用・新たな展開の方向を探り、かつその発展を促進することを目的としています。

期 日: 10 月 4 日(日)~8 日(木)

会 場: 富山国際会議場 (〒930-0084 富山市大手町 1)

論文締切: 5 月 29 日

発表形式: 基調講演, 招待講演, 一般講演, 特別講演など
参加登録費: [9 月 20 日までの登録] 一般 50,000 円, 学生・シニア 10,000 円, 意見交換会費 5,000 円 [9 月 21 日以降の登録] 一般 60,000 円, 学生・シニア 15,000 円, 意見交換会費 7,000 円

論文投稿・参加申込方法: 詳しくは Web ページ (<http://www.isom.jp/>) を参照してください。

問合せ先: ISOM 事務局 木村

電話 03-5925-2840 Fax 03-5295-2913

E-mail: secretary@isom.jp

**第 1 回日本-フィンランド医用光学シンポジウム
(Advanced Photonics in Clinical Medicine and Surgery)**

光学技術の多様な臨床利用に関して、東フィンランド大学 (UEF) Medical Optics Research Center と千葉大学フロンティア医工学センターが主体となって、双方の組織からの研究発表と討論が行われます。

期 日： 2015 年 5 月 25 日(月), 26 日(火)

場 所： フィンランド・クオピオ大学病院および東フィンランド大学ヨーエンスキャンパス

主 催： UEF Medical Optics Research Center

後 援： 日本学術振興会およびフィンランドアカデミー

詳 細： <http://www.medi-imaging.org/>

問合せ先： 千葉大学フロンティア医工学センター

羽石秀昭 電話 043-290-3405

E-mail haneishi@faculty.chiba-u.jp

E-mail shoji-hajime@sei.co.jp

<http://www.comemoc.com/>

「相関とフーリエ変換で理解できる光学機器」技術講座

期 日： 2015 年 6 月 12 日(金)

場 所： 機械振興会館別館 (東京都港区芝公園 3-5-22)

主 催： (一社)日本オプトメカトロニクス協会

協 賛： (一社)日本光学会, ほか

参加費： 協賛 35,640 円 (テキスト・消費税含む)

定 員： 24 名

申込期限： 2015 年 6 月 5 日(金)

問合せ先： (一社)日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail info@joem.or.jp URL <http://www.joem.or.jp>

**第 136 回微小光学研究会「材料を創る, 活かす一適材
適所の微小光学」**

期 日： 2015 年 5 月 26 日(火)

場 所： 早稲田大学西早稲田キャンパス 55 号館 N 棟 1 階
大会議室 (〒169-8555 東京都新宿区大久保 3-4-1)

JR 山手線新大久保駅徒歩 12 分, JR 山手線・東京メトロ東西線・西武新宿線高田馬場駅徒歩 15 分

主 催： (公社)応用物理学会 微小光学研究会

問合せ先： 小路 元 (住友電気工業(株))

電話 045-851-2174 Fax 045-852-2913

「レンズ設計法」技術講座

期 日： 2015 年 6 月 17 日(水), 18 日(木)

場 所： 機械振興会館別館 (東京都港区芝公園 3-5-22)

主 催： (一社)日本オプトメカトロニクス協会

協 賛： (一社)日本光学会, ほか

参加費： 協賛 62,640 円 (テキスト・消費税含む)

定 員： 24 名

申込期限： 2015 年 6 月 10 日(水)

問合せ先： (一社)日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail info@joem.or.jp URL <http://www.joem.or.jp>

「応用物理」第 84 巻第 5 号 (2015 年 5 月号) 目次

速報：講演会レポート

記者が見た！ 2015 年春季学術講演会……………山下郁雄

解 説

陽電子消滅による半導体デバイス材料中の空孔型欠陥の評価

……………上殿明良

超高速光学撮像法が拓くフロンティア……………中川桂一, 合田圭介

最近の展望

断熱型超伝導論理回路を用いた可逆計算機の研究……………竹内尚輝

研究紹介

金属系および高温超伝導線材の高性能化……………土井俊哉, 堀井 滋

固体高分子形燃料電池の超高耐久化……………藤ヶ谷剛彦, 中嶋直敏

量子情報デバイスへ向けた半導体ナノワイヤ・カーボンナノチューブとプロセス技術

……………石橋幸治, ディーコン ラッセル, 飛田 聡
シリコンチップ上で実現する集積光量子回路……………武居弘樹

固有ジョセフソン接合によるテラヘルツ発振器

……………羽多野毅, 王 華兵

基礎講座

電気計測 (高周波測定) のコツ……………藤島 実, 天川修平

連 載

科学を詠む⑤……………松村由利子

スチューデントチャプターだより

東北大学 SC から始まる新たな繋がり—第 2 回研究発表会の報告

……………長谷川美佳

Science As Art

緑橙～幻燈螢光……………星野愛信, 高橋儀宏, 寺門信明, 藤原 巧